

休刊大祭祝日毎日隔

# 平新聞

定價 一紙 錢壹月三十  
廣告料 雜報欄五十錢  
所定定二十錢増  
編輯人 市島範三  
印刷所 平新聞社  
發行所 平新聞社

## 小説

### 待合政治

(五) A M 生

「こら、貴様等、今こゝで何を喋つて居つたのか、みんなの醜体は何ぢや」

「白井さん、大きにお世話さまで、妾等より貴君は何ですの、朝ッぱらからこんな處へ来て、議會の方へ行つしやらないの」

「議會なんか行くものか、千兩役者は序幕から出ないや、それより貴様等、今こゝで何の陰謀を企て、居つたんだ、白状しろ」

「陰謀ッて何」

「藝妓の中でも殊にお茶いビイらしいのが呆れたやうに聞く、グアイオリンの望月をこぞごぼかり、陰謀はシ扁の淫謀でけせう、ねい、白井君」

「さうだ、シ扁の淫謀はよかつた、こゝ陰謀といふのは淫賣の計略といふことだ」

「白井さん、妾等がいつ淫賣をしました、失禮なことを仰しやるな」

「イヨ、怒つたね、淫賣をしたとは云はない、世間では藝妓を淫賣といふから、如何にしてそれを打消さうかといふ計略を練つてゐたんだといふんだ」

「それならい、けれど、あんまりなことを仰しやるよ、妾等、議會へ押しよせ、白井さんの穴をスツバ抜きますよ」

「穴なんかない」

「嘘を仰しや、知つてますよ」

「そんなことは答辯の限りでない、何うだ望月君、淫賣の攻撃を巧みに打ちやつた處は首相をつくりだらう、全くでげすよ、巧いもんでげすね」

「望月さん、今日はおめかして何方へ」

「こゝへ来たんだよ、君等の顔を見に来たんだよ」

「望月は妙にシナを作る。有り難う、妾等の顔を見に来て下さつたんだよ、みんな、望月さんによく顔を見て戴くんだよ」

「藝妓連が目と目で妙な笑ひ方をする。引立が、りに顔を見て戴くんでせう」

「さうだとも望月さん、呼んで来ませうか」

「これは恐れ入つた、衆寡敵せず、君等にかつちや敗北々々」

「望月は赤いネクタイをチョイと直し真ん中から綺麗に分けた薄毛の櫛目へ小指の爪を入れて搔く、年配よりもズツと波手なモニングを着てゐる。白井は紋付に袴、顔に髻がへてゐるといふよりも、髻に顔がついてゐるといつた方が適當な御面相。」

「女將は留守かい」

「ちよいと水天宮さんまで、アーム女將の留守に労働會議でも開いて居つたのだ」

「何うですか」

「白ツぱくれるな、會議の席上、吾輩の悪口を云つて居つたのだらう」

「えい、いつてましたとも白井さん、はあんな恐い顔をして居つしやるけれど、一方の方はおやさしいだらう」

「嘘を云へ」

「本當ですよ、妾等だつて今少し何とあつた女だつたら是非とも白井さんに一ト廻りかゝつて見たいつて、みんながさういつてゐるんですよ」

「さうか、ちや請願書を出すがい」

やな川  
牛鳥肉なべ  
石川亭  
平町田町  
電話四三番

本日より  
牛肉大賣出し  
牛豚肉  
深谷肉店  
電話五二四番  
平 驛 前

十一月より冬物大賣出し致します  
秋冬の洋品は是非く  
萩野  
洋品店へ  
平町驛

マンドリン  
グアイオリン  
ハーモニカ  
各種樂器類  
其他附屬品一式  
菊屋  
樂器店  
平町二丁目角

◎日活松竹優秀映畫公開  
プログラム  
●日活現代超作品 監督 伊奈精一  
根岸東一郎 演 佐藤圓治 助 演 徳川良子 全七卷  
●ロマンチック神田の下宿 全七卷  
●碧空に高鳴るバツトの響輝かしいサウンド学生時代の思出懐かしい校歌を古びた日記を聞いて見よ  
●松竹時時特作 監督 衣笠貞之助  
林長二郎入社第二回大作 オールスターキヤスト  
捕物 俠 お嬢吉三 全十卷  
●情けの大鼓と冬枯れのみぞれ雪哀戀の雄辯乙女は戀に殉じ骨肉の刃の露と消へ行くお霜を抱いてお嬢吉三の魂は遠く天界に去る  
●週刊朝日所載大日活大作 監督 衣笠貞之助  
大河内傳次郎主演 萬木香一 澤村春子 助演  
●捕物 俠 流轉 全十四卷  
△武士として世の荒波と闘ひ剣争も涙も笑も共に人の心の奥底より必み出る眞摯なる態度を以て人の世の姿を描ける修羅王を凌ぐ折紙付の大傑作  
●十月二十日 市川右太衛門 主演 学生 土曜日曜 平館 電話四六六

●柏屋モスリン店へ  
電話一六一番

銅トタン  
屋根建築  
諸君建築  
ヘント塗  
平町新川町  
請負  
田中宣治  
電話五六七番  
電柱廣告一般扱致します御遠慮なく御申込下さい

女の方へ衛生思想普及の爲め  
十月 原價(小金六錢) 脱脂綿(すりわた) 販賣いたします  
秋から冬へかけて痔患者は惱みが深くなる此時季に手當を怠ると怖るべき痔瘻や脱肛になります  
新發見藥外用リット 金五錢以上  
製造元 東京加藤翠松堂株式會社  
平町田町  
藥劑士 宇佐美藥局  
電話五五一番

請負業  
只野忠康  
平町南町

目神教水  
平町播植小路  
發賣元 魁文堂  
電話三三三番

いよく食肉の節になりました  
牛なべなら是非牛豚肉専門の  
大塚亭へ  
平町驛前  
電話六六七番

銘酒白菊正宗發賣元  
和洋酒罐詰問屋  
廣瀨支店  
平町田町 電話五十四番  
振替東京四七二一九

